

サービス方式を活用した老朽施設の更新事例(愛媛県砥部町)

取組概要

老朽化により更新が必要な庁舎及び保健センターの空調設備等について、経済的かつ効率的に取組むために、設計・施工及び維持管理まで含めた一括発注方式(サービス方式(13年間))を活用し、更新するものである。

取組の効果

サービス方式を導入することで、基本設計や実施設計といった中間業務を省くことができ、設計費や施工管理費等の中間マージンを削減する事が出来る。

また、維持管理を含むサービス方式とすることで、職員の事務負担の軽減が図れるとともに、概算事業費ベースで10%程度の経費削減にもつながる見込みであり、高効率でCO2排出削減効果の高い機器等に転換することで、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013(平成25)年度比で40%削減の目標達成に近づけられるものと期待している。

創意・工夫した点

財政的に厳しい状況で、空調設備等の更新を行う必要があり、できる限り財政負担の少ない方法を検討

- 経費の平準化(サービス方式)
- 職員の事務負担の軽減
- 工期の短縮(設計・施工、工事監理を含む一括発注)

他団体へのアドバイス

財政的に厳しい状況下でも、長期契約によるサービス方式とすることで、経費が平準化され、財政負担の軽減が期待できる。

人口20,957人(R2.1.1現在)

担当 企画政策課



砥部庁舎及び保健センター



更新予定機器